

麻雀分科会「おとなの積木タイム」 運営要領

[目的]

会員相互のコミュニケーション拡大を図り、会員同士のより一層の親睦を深める。
月に数回、愉快で楽しいひとときを膝つき合わせて仲間と過ごす。勝負第一でなく親睦第一の健康麻雀イメージ。
指先を使い、脳に汗をかくことで各会員の脳の活性化を図り、ボケ症状の進行を阻止する。

[名称]

麻雀分科会：「おとなの積木タイム」

[メンバー]

男女を問わず、初心者も大歓迎で希望者を広く募集中(2012年5月末時点で20名)。

[運営方法]

- 開催頻度 ・ ・ 隔週で月に3回ほど例会を開催(原則として第2火曜日、第3土曜日、第4金曜日とする)。
例会への参加は必須でなく、開催の前月に翌月の参加可否を問い合わせるものとする。
- 開催時間 ・ ・ 13時から17時頃まで。卓替えはせず東南まわしで半荘を複数回繰り返す。時間制による半荘の打ち切りはない。但し、17時時点では打ち切り終了とする。全員マイナスによる西入りはあり。
- 開催場所 ・ ・ 高級麻雀荘・瑞光(新百合ヶ丘駅から徒歩3分)
- 対戦方法 ・ ・ 総当たりのリーグ戦形式
- 競技メンバーの絞り込み ・ ・ 参加人数が卓の数を上回る場合、競技開始前に実施メンバーと待機メンバーを決定する。例えば1卓の場合、万子4枚(1万~4万)の暗牌から万子を選んだグループとその他牌に分け、1万を選んだ人は1回戦(最初の半荘)を休みとする。2回戦は2万の人の席と交代する。以降は2万3万の人の席、3万4万の人の席と順繰りに進む。またメンバーの卓への配置は前回までの総得点の高い順とする。順位1位~4位のメンバーは第1卓となる。9名の場合、第2卓が5名となる。
- 対戦規則 ・ ・ 過度にインフレにならない規則の採用
持ち点 25,000点 / 30,000点返し、うま無し、リーチ棒 1,000点
ノーテン罰符・場 3,000点、1本場 300点、5本場以上は2翻しぱり
東南まわし、ドラは次牌、七対子は50符1翻、二盃口は3翻
完全先付け、裏ドラ、カンドラ(即のり)、リーチ一発、平和ツモ、親流れ(ノーテン時) ・ ・ あり
リャンメン待ちで喰い替えなし、2人当たりはあり、3人当たりは流れ、3倍満は13翻
半チャン終了時、全員がマイナス点だったら誰かがプラスになるまでサドンデスで続行する。
喰い断ヤオ、割れ目、赤ウーピン、振り聴リーチ、ドボン ・ ・ なし
天和、純正九連宝燈、大四喜、四暗刻単騎、四カン子、国土無双十三門張 ・ ・ ダブル役満
その他規則は必要に応じ適宜定める。
- 順位付け ・ ・ 1年を前期、後期に分け6ヶ月毎にリーグ戦の結果で表彰(表彰対象の最低参加回数は期末時点の状況で判断するが、平均して月1回以上の参加を規定参加回数とする)。
表彰は優勝、準優勝、ブービー賞他でなるべく多くのメンバーを表彰するように工夫する。
- 表彰式 ・ ・ 前・後期終了時に懇親会を開催、その席上で表彰実施
- 費用 ・ ・ 会員は参加する月に限って月会費 500円を支払う。(前・後期の表彰報奨金の原資とする)
場所代、飲食代は都度その場で各自清算する。

[世話役]

- 企画係(東畑) ・ ・ 月毎の参加予定者を取り纏め、雀荘確保に責任。表彰式や他イベントの企画
 - 記録係(谷口) ・ ・ リーグ戦結果詳細を保存、途中経過を参照可能にすると共に前・後期の最終成績を報告する、また参加費用を長期管理する。
- 世話役の任期は1年間とし、次期は優勝者とブービーに交替するのを基本で調整する。連続の任期はなしとする。

[イベント]

- 他のシニア団体(ウエンス会、サンキン会等)との交流戦を企画(年に数回程度)
 - 前・後期通算で年度の通算順位決定戦の企画(前・後期の優勝者、準優勝者で1卓を囲む等)
- 申し込み・問い合わせは、東畑 / 谷口まで